

パティ・ヒル 第二副会長

パティ・ヒル（カナダ アルバータ州エドモントン）は、2021年6月25日から29日にかけて開催されたライオンズクラブ国際協会の第103回国際大会で、同協会の第二副会長に選出された。

ヒル副会長は、コンサルティング会社の代表取締役。30年以上の経験を持つ心理士として、大学院生や心理士研修生を指導してきた。視聴覚障害児の権利の擁護活動にも尽力している。

1990年以來エドモントン・ホスト・ライオンズクラブの会員であるヒル副会長は、国際協会において、地区の会員増強委員長、環境委員長、大会委員長、国際協調委員長などを含む数々の役職を歴任してきた。米国/カナダ・ライオンズ・リーダーシップ・フォーラム 委員会メンバー、視力ファースト・キャンペーン II マルチナショナル・コーディネーター、ライオンズ・アイバンク（アルバータ州）協会 幹事、ライオンズ北アルバータ眼科研究所 副代表、および数多くのフォーラムや大会におけるプレゼンターを務めた経験もある。

協会への貢献が認められ、複数の国際会長賞をはじめとする多数の賞を受賞。国際協会より会員に与えられる最高の栄誉である親善大使賞も贈られている。累進メルビン・ジョーンズ・フェローであり、その他多くのフェローシップも受けている。

ライオンズの活動以外にも、専門分野や地域社会に関わるさまざまな団体で活躍するヒル副会長は、アルバータ州心理士協会、心理士大学、コミュニティリーグのメンバー。過去には、アルバータ学校心理士協会やカナダ聴覚障害児教育者協会で幹部役員を、さらにアルバータ州首相障害者評議会の一員を務めた経験もある。

同じくライオンズの会員である夫 グレグ・ホルムズとヒル副会長の家族は増え、ピーター、カーリー、ジェシカ、ミッチ、エリン、マイク、そして孫娘のバイオレットとの時間を楽しんでいる。